

スキーヤーとスノーボーダーのゲレンデ滑走における安全意識に関する研究 ～技術レベルとの関連に着目して～

藪内 健 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)
指導教員 林 綾子

キーワード：スキー，スノーボード，安全意識

1. 序論

スキーとスノーボードを中心としたスノースポーツは時代の経過と共に多様化し、幅広い年代に普及した。しかし、誰もが簡単に行えるスポーツであるためルールやマナーに対する意識の差から事故や傷害等が多く発生している。これらは講習受講者の減少など教育を受けない人が増えたことにより安全に対する意識が薄れてきているためと言われている。安全なスノースポーツ環境を作るためには、一人ひとりの安全意識を高める必要がある(全日本スキー連盟, 2010)。

そこで、本研究では一般スキーヤーと一般スノーボーダーの安全意識を認知と行動の2領域から調査し、技術レベル、属性による違いを明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

【研究対象】2012年2月24日(金)、25日(土)、27日(月)に滋賀県奥伊吹スキー場・滋賀県びわ湖バレイスキー場に来場した一般スキーヤー(男性135名、女性80名)、一般スノーボーダー(145名、女性106名)計466名を対象とした。

【調査方法】一般スキーヤー・一般スノーボーダーの20名に予備調査を行った。さらに先行研究のアンケート調査を参考に筆者が独自に作成した2領域(認知、行動)、3因子(人的、環境、道具)を含む22項目の質問用紙を使用した。

3. 結果と考察

①技術レベルと安全意識の関連について

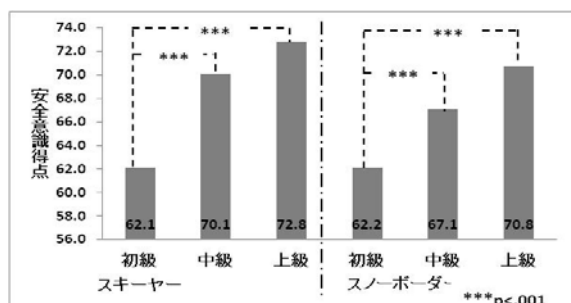


図1 スキーヤー、スノーボーダーの技術レベル別安全意識得点の比較

スキーヤー、スノーボーダーの技術レベル別安全意識得点の比較については、スキーヤー、スノーボーダー共に中上級者の得点が初級者よりも有意に高かった。中上級者は、技術の向

上から行動範囲が拡大し、多様なコースを経験する。そして、視野も広がることでゲレンデに潜む危険を認識することができるようになる。このような経験をしていくうちに安全意識が高まったと考えられる。領域別にみても、認知・行動共に中上級者の得点が初級者よりも有意に高かった。

②経験値と安全意識の関連について

スキーヤー、スノーボーダー共に経験年数が多くなるにつれ安全意識も高くなることがわかった。また、11年以上経験することで高い意識に達する事がわかった。技術の向上と多様な経験から安全意識がより高まったと考えられる。技術レベル別安全意識得点と経験年数の相関を求めた結果、各レベルの中でも経験の多い人の方がより高い安全意識を持っていることがわかった。このことから経験の重要性が明らかとなった。

③講習受講経験と安全意識の関連について

スキーヤー・スノーボーダー共に講習経験者の安全意識得点が未経験者に比べ有意に高かった。また技術レベルごとでt検定を行った結果、中級スキーヤー、初中級スノーボーダーの講習経験者の安全意識得点が未経験者に比べ高かった。初中級者はゲレンデに内在する危険を十分に認識してないため、安全に配慮した行動をとるのが難しい。その為、指導者から安全指導や技術指導を受けることでルール、マナーの重要性、他者を思いやる行動の大切さが理解できると考えられる。

4. まとめ

滑走者の安全意識は、技術レベルが上がるほどゲレンデ内の様々な場面を経験することで高くなることがわかった。様々な経験をすることで状況に適した滑走をすることの大切さ、他の滑走者を配慮する大切さが理解でき、安全に対する意識が高くなったと考えられる。一人ひとりが危険要因を認識し責任意識を持った行動をとることが安全なゲレンデ環境作りに繋がると考えられる。

5. 引用文献

1) 財団法人全日本スキー連盟(2010), 日本スキー教程「安全編」第1刷, スキージャーナル株式会社:東京, pp. 10-11.